

科目名 (英)	エステティック理論Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
学科・コース	トータルビューティ科エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとしてホームケアアドバイスができるようになる為の基礎知識をつける (栄養学・化粧品学・運動生理学)							
経歴：大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
エステティシャンとしてホームケアアドバイス(食事、運動、化粧品)ができるようになる 資格取得検定にて必要なコンサルテーションシートにアドバイスが記載できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAテキスト、新エステティック学 理論編Ⅱ							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 栄養学① 【到達目標】 ・ 5大栄養素、栄養素の種類を知る			9	【授業単元】 運動生理学② 【到達目標】 ・ 運動と代謝、運動とアンチエイジングについて知る		
2	【授業単元】 栄養学② 【到達目標】 ・ 栄養価 栄養所要量を知る ・ 食物摂取とその消化吸収 栄養学からみた食品を知る			10	【授業単元】 運動生理学③ 【到達目標】 ・ 運動時の姿勢やポジショニングについて知る		
3	【授業単元】 栄養学③ 【到達目標】 ・ 健康と栄養の関わりについて理解する ・ 肥満の判定について知る			11	【授業単元】 運動生理学④ 【到達目標】 ・ 運動を実践し、筋肉の動き方、使い方を知る		
4	【授業単元】 栄養学④ 【到達目標】 ・ 中老年期の栄養摂取について知る ・ サプリメントの摂取方法について知る ・ 食品添加物について知る			12	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践① 【到達目標】 お客様の肌悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
5	【授業単元】 化粧品学① 【到達目標】 ・ 化粧品の基礎知識を学ぶ ・ フェイシャル化粧品について知る			13	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践② 【到達目標】 お客様のお体悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
6	【授業単元】 化粧品学② 【到達目標】 ・ 化粧品の目的を理解する ・ ボディ化粧品について知る			14	【授業単元】 ホームケアアドバイス③ 【到達目標】 お客様のお肌、お体の様々な悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
7	【授業単元】 栄養学・化粧品学復習 【到達目標】 ・ 食事、化粧品についてホームケアアドバイスが出来るようになる			15	【授業単元】 コンサルテーションシート作成 【到達目標】 お客様の悩みに応じたホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入できる		
8	【授業単元】 運動生理学① 【到達目標】 ・ 運動の必要性 運動の効果 筋肉について知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)			
【特記事項】							

科目名 (英)	検定対策 I (Official overall practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川 有香
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 接客販売トレーニング&コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける							
【授業を通じての到達目標】 ファッション販売能力検定3級取得:ファッション小売業における販売/店舗運営知識の把握、技術の習得 ナチュラルビューティスタイリスト検定取得:ライフスタイルアドバイザーとしての健康的なくらしのサポート知識習得							
【使用教科書・教材・参考書】 ファッション販売3 ファッション販売検定試験問題集3級 ナチュラルビューティースタイリスト検定問題集				【授業外における学習】 講義時に行った問題集の正誤復習理解			
回	授業概要						テスト配点
1	ファッション販売能力検定3級概要解説 ファッション販売能力検定3級概要理解する 教科書全ページ流し読み						
2	1章ファッション販売知識 ファッション販売知識理解する 教科書:P8-P19/P174-P185						4
3	5章 マーケティング1 マーケティング1理解する 教科書:P174-P185						
4	5章 マーケティング2 マーケティング2理解する 教科書:P185-P197						
5	6章 販売スタッフの業務 販売スタッフの業務理解する 教科書:P185-P197						4
6	2章 ファッション販売技術 ファッション販売技術理解する 教科書:P20-P45						
7	3章 商品知識1 アイテムの知識理解する 教科書:P46-P93						20
8	3章 商品知識2 素材/ディテール/柄/サイズ知識理解する 教科書:P94-P151						
9	4章 売り場づくり 売り場づくり理解する 教科書:P152-P173						4
10	ファッション販売能力検定3級 総括 ファッション販売能力検定3級総合理解する 試験対策、過去問演習						
11	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策1 ナチュラルビューティースタイリストとの役割理解する 「カラダのしくみを知る」理解 教科書:P2-P22						4
12	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策2 「カラダの内側から整える」理解する 教科書:P23-P62						
13	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策3 「カラダの外側から整える」理解する 教科書:P63-P86						4
14	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策4 「毎日のこころがけでナチュラルビューティー」理解する 「植物図鑑」理解 教科書:P87-P121						
15	定期試験 ナチュラルビューティースタイリスト検定受験						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	接客販売ロールプレイ I Sales roll play	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川 有香
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 接客販売トレーニング&コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける							
【授業を通じての到達目標】 ・店頭において接客販売が一人前にできる状態を目指す							
【使用教科書・教材・参考書】 ・SC協会DVD ・接客会話攻略ハンドブック				【授業外における学習】			
回	授業概要						テスト配点
1	入社後の目標確認/接客販売の仕事理解/購買行動の変化 ファッション業界で行われる接客の必要性・重要性を理解する お客様の購買行動の変化を知る						
2	体験事例共有/購買心理/求められる販売行動 接客販売への理解/ショップの年間の流れを理解する お客様の購買心理と購買行動を知る						4
3	接客用語/敬語/店頭用語/立ち居振る舞いについて 接客販売基礎を学び接客の基礎を実践出来るようになる						
4	接客用語(外語学) 外国語での販売基礎を学び、多様なお客様に対応ができるようになる						
5	表情・挨拶・待機姿勢/店頭での動き方(ロールプレイ) 第一印象の重要性を知る/第一印象良く過ごせるようになる						4
6	ウォッチング/ファースト&セカンドアプローチ(ロールプレイ) ウォッチング(観察)とアプローチを知ることができる						
7	筆記テスト/ロールプレイ演習実技(各自2分間ずつ) 中間テスト(20点) 接客基礎と考え方の確認						20
8	メリット・デメリット・ベネフィット/セリングポイント 商品説明・紹介トークができるようになる						
9	ニーズとウォンツ/ニーズの引き出し方/お客様への質問の仕方 ニーズとウォンツを理解し、ヒアリングができるようになる						4
10	提案(プレゼンテーション)のポイント/買いたくなる提案の仕方 提案力を身につけ、商品提案ができるようになる						
11	クロージング/販売員主導の接客とお客様主導の接客/お見送り作法 クロージングとお見送りを学び、接客を完結させられるようになる						4
12	リピーターを作る重要性/リピーターを作る仕組み リピーターづくりを学び、継続的な売上確保が必要な重要性を知る						
13	接客ロールプレイ演習 ロールプレイ演習実技(入店～お見送りまで)ができるようになる						4
14	定期試験準備 ロールプレイ演習実技の復習(入店～お見送り) 定期試験準備						
15	ロールプレイ演習実技試験(各自7分間ずつ)/実技ふりかえり 定期試験(60点)						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションIT演習 I (Fashion IT exercises)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	TFL (Avail 山下)
学科・コース	トータルビューティー科・ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。 このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。 目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。 概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地の物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄与する。							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	Browzwearの基本操作/Tシャツ1:ツール・マウス操作説明/アバター編集/縫い合わせ指示/3D空間での						
2	Tシャツ2:パターン読み込み/被服構造/パターン編集/デザイン修正/グラフィック配置/小テスト						5点
3	スカート1:スカートの展開/タイトスカート原型/フレアスカート/ギャザースカート/ゴム設定						
4	スカート2:プリーツスカート/プリーツ折り曲げ設定/パターン編集/デザイン修正/小テスト						5点
5	シャツ1:シャツ・ブラウスのパターン/芯/折り曲げ設定(衿)/前立て/カフス・剣ボロ/タック指示						
6	シャツ2:切り替え・内部線編集/ボタン設定/ファスナー設定/ステッチ指示/レンダリング手順/小テスト						5点
7	コーディネート作成/着せ付けテクニック・各種ツールの使い方/アバターポーシング						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討						20点
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック						5点
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会						60点
【特記事項】				【評価について】			
後期修了時、後期修了時の年2回、外部企業(豊島株式会社)との連携により、ファッション3DCGアワード実施予定 産学案件として学生作品の商品化まで視野に入れた計画を調整中				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションビジネス I Fashion business	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う ※講師: エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】 マーチャンダイジング・ヴィジュアルマーチャンダイジングの仕事について理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 授業毎にプリントを配布				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする						
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る						4
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 (業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る)						
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。						
5	ファッション業界についての理解③ PR(プレス)、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。						4
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。(ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解)						
7	中間テスト 筆記テスト(50分)、回答(10分) ファッション業界についての業務、職務内容についての説明						10
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える (「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る)						
9	ショップリサーチ(実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る) ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る						4
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。						
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する						4
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する						
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ(メンズ、ウィメンズ)とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する						4
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習						
15	定期試験 筆記テスト(60点)、回答(20分) ファッション、トレンドについての用語説明など						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スタイリスト演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	手嶋
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師経緯:ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教えた、スタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】 どのスタイル・カテゴリーにおいてもスタイリストとしてコーディネートが組めるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 授業毎にプリントを配布				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	スタイリスト概論・授業概要の理解						
2	素材別のアイロン技術						4
3	年代別コーディネート(10代・20代)						
4	年代別コーディネート(30代～50代)						
5	シーン別コーディネート提案						4
6	オリジナルスタイリング						
7	オリジナルスタイリング&プレゼンテーション						20
8	シーン別コーディネート提案②						
9	シーン別コーディネート提案③						4
10	トレンドスタイリング						
11	トレンドスタイリング②						4
12	スタイリスト現場での動きの理解						
13	スタイリスト現場での動きの理解②						4
14	テーマに沿ったオリジナルコーディネート						
15	定期試験						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

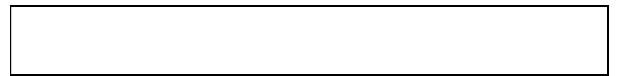
科目名 (英)	ファッション概論 Fashion outline	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う ※講師: エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】 ファッション業界の第一線で働くための、基本的なファッション知識の習得とファッション業界についての業務内容などを理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】 授業毎にプリントを配布				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする						
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る						4
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 (業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る)						
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。						
5	ファッション業界についての理解③ PR(プレス)、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。						4
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。(ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解)						
7	中間テスト 筆記テスト(50分)、回答(10分) ファッション業界についての業務、職務内容についての説明						20
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える (「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る)						
9	ショップリサーチ(実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る) ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る						4
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。						
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する						4
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する						
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ(メンズ、ウィメンズ)とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する						4
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習						
15	定期試験 筆記テスト(60点)、回答(20分) ファッション、トレンドについての用語説明など						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションスタイリング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 / 緑川
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界、小売業における基礎的な知識(シーズン、スタイリング、アイテム名称、カラー名、素材、リサーチ力など)とともに、プレゼンテーションの資料作成や発信方法の基礎の取得を目的とする。							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職(シニアマネージャー、スーパーバイザー)として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なファッションやそれらを取り巻く知識を習得しプレゼンテーション能力向上や、業種や職種知識を習得してファッション・小売業界への知見を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファッションとは？流行とは？情報とはどのように入ってくるのか？ 自分たちを取り巻くファッションについて考察する。(SNS、雑誌、広告などを調べ考察する)						
2	ファッションの基本的な知識(スタイリング、ディテール名称、素材知識、カラーなど)を知る。					5点	
3	ファッションのバックボーン(歴史やカテゴリー、コレクションなど)を知ることによって、ファッション、小売店舗の種類を理解してファッション業界の幅を知る。					5点	
4	中間テスト					20点	
5	アパレル以外のファッションについての理解。 (服飾雑貨、コスメ、ヘアメイクなどアパレルを取り巻くファッションについての理解)					5点	
6	スタイリングプレゼンテーション①(資料作成)					5点	
7	期末テスト					60点	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修 I メイク	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	久保・清水
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、パックスステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティスト</p> <p>【目的】 基礎的なことからメイクの応用までのメイクを学ぶ。講師から様々なメイク方法を学び、新しい発見やメイクの楽しさを感じてもらおう。自分自身のメイクの幅を広げ知識を高める。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>質感・形・色について学びメイクの幅を広げる。学んだテクニックを活かし、顔の印象を変えられるようになる。(セルフメイク) ※相手にメイクをする事の楽しさを学んでもらう為、一部アイモデルでの実践内容有り</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式・筆記用具・iPad							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション(自己紹介・授業内容説明・メイク道具の説明・セルフメイク)						
2	ファンデーションの種類と質感別仕上げ方(ツヤ・マット)					1点	
3	様々なアイブロウの描き方(シャープ・ソフト)					1点	
4	質感とグラデーションを活かしたアイメイクの仕上げ方(ブラシ研究)					1点	
5	つけまつげの選び方と付け方					1点	
6	中間テスト練習					5点	
7	中間テスト					20点	
8	印象別メイクが出来るようになる①(フェミニン)					1点	
9	印象別メイクが出来るようになる②(クール)					1点	
10	カウンセリングメイク(相モデルで印象別メイクの提案)					1点	
11	イエローベースのカラーを使ったメイクが出来るようになる					1点	
12	ブルーベースのカラーを使ったメイクが出来るようになる					1点	
13	カウンセリングメイク(相モデルでイエベ・ブルベカラーを使ったメイク提案)					1点	
14	スモーキーメイクが出来るようになる(定期テスト練習)					5点	
15	定期テスト(セルフメイク)					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	選択必修1 ネイル	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝本
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)		
学科・コース	トータルビューティ科 ネイルコース					開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1. 2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では サロンワークに必要な基本的なアートから流行りのアートまで様々なジェルアート技術を修得する 内田由香: ネイル専門学校で専門知識を学びサロンワーク、出張ネイルを経てネイルサロンの立ち上げに携わってきました。 その後、各ジェルメーカーのインストラクターとネイル専門学校で講師を務め教育に従事しております 今後皆さんには試験官経験の経験も活かし知識と技術をお伝えします。 戸川智尋: ネイル教育に20年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしております。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。 この経験を活かし役に立つ技術をお伝えします。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的なジェルアートから流行りのアートまでを習得して、ネイルチップを作成できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎回の持ち物 ネイルの教材 ※ <u>フィンガーボール タオルは持参しなくてよい</u> <u>ハサミ</u> <u>両面テープ</u> <u>キッチンペーパー ロールタイプ</u> <u>コットン</u>							
回	授業概要					持ち物	テスト配点
1	シラバス読み合わせ フリーエッジ 5/パターンでのファイリング[小テスト] チップ台組み立て 目標:5種類の形を覚える					55-P9NN-6ニュースクエアナチュラルリフィル 60-norocネイルカラー 赤P002 61-NPコンシ&747W7-ス 62-PPH4 64-カリリダスターフラッシュミニ(ピーチ) 66-カリリダスターフラッシュ50枚入 ピンク 67-カリリダスターフラッシュ220G 71-シヤレドワ フォドステック スクエアS本入り 77-シヤレドワフォスター NEW 90-ストス スボンジファイル180/220	小テスト20点
2	チップカラーリング アート(リボン、ハート)をチップに施す 目標:バランスよくムラなく繊細に描ける					55-P9NN-6ニュースクエアナチュラルリフィル 60-norocネイルカラー 赤P002 61-NPコンシ&747W7-ス 62-PPH4 64-カリリダスターフラッシュミニ(ピーチ) 66-カリリダスターフラッシュ50枚入 ピンク 67-カリリダスターフラッシュ220G 71-シヤレドワ フォドステック スクエアS本入り 77-シヤレドワフォスター NEW 90-ストス スボンジファイル180/220 92-noroc2ユニット 78-スペースネイル ポリッシュリムーバー(500ml)	
3	アート(レース、チェック)をチップに施す 目標:バランスよくムラなく繊細に描ける					55-P9NN-6ニュースクエアナチュラルリフィル 60-norocネイルカラー 赤P002 61-NPコンシ&747W7-ス 62-PPH4 64-カリリダスターフラッシュミニ(ピーチ) 66-カリリダスターフラッシュ50枚入 ピンク 67-カリリダスターフラッシュ220G 71-シヤレドワ フォドステック スクエアS本入り 77-シヤレドワフォスター NEW 90-ストス スボンジファイル180/220 92-noroc2ユニット 78-スペースネイル ポリッシュリムーバー(500ml)	
4	ジェル ブラシのおろし方 ブラシの洗浄方法 ワンカラー ラメラデーション						
5	グミネイル※シュガーネイル(ラメ) 1色 2色						
6	カラグラデーション (スライド) チェックネイル						
7	タイダイ ベツ甲						
8	大理石(オフホワイト ブラック ライナーホワイト)						
9	中間テスト ラメラデーション メタリック					55-P9NN-6ニュースクエアナチュラルリフィル 61-NPコンシ&747W7-ス 62-PPH4 64-カリリダスターフラッシュミニ(ピーチ) 66-カリリダスターフラッシュ50枚入 ピンク 67-カリリダスターフラッシュ220G 71-シヤレドワ フォドステック スクエアS本入り 77-シヤレドワフォスター NEW 90-ストス スボンジファイル180/220	中間テスト 20点
10	縦グラデーション オンプレフレンチ					55-P9NN-6ニュースクエアナチュラルリフィル 61-NPコンシ&747W7-ス 62-PPH4 64-カリリダスターフラッシュミニ(ピーチ) 66-カリリダスターフラッシュ50枚入 ピンク 67-カリリダスターフラッシュ220G 71-シヤレドワ フォドステック スクエアS本入り 77-シヤレドワフォスター NEW 90-ストス スボンジファイル180/220	
11	ミラーボール(ラメ) ドットネイル(ホロ)						
12	キルティング(粘土 ジェル)						
13	粘土ジェル リボン ハート ニット						
14	チップの合わせ方 自爪に10本合わせる 10本セット作成						
15	10本セット作成						定期テスト60点
【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価 備(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							

科目名 (英)	トレンド研究 (中間導入)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	松原 佐藤 羽村
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻選択に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4							40点
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8							60点
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			



科目名 (英)	ベーシックメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	(水)1・2限1-1 3・4限1-2
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>20年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で10年以上教育にも携わっております。技術の土台となる基本的なスキンケアやメイクテクニックのみではなく、マナーなどの知識もお伝えします。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。</p> <p>目的:フルメイクをするためのマナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が修得できるようになる。</p> <p>概要:テキストに基づいてメイクをする際のポイントや注意点を覚え、相モデルでの反復練習と技術チェックで基本のフルメイク技術を学ぶ。JESCメイク検定科目でもあるが様々なメイクができるようになるためには重要な基本技術である。</p> <p>筆記試験合格対策として、毎回Teamsにて筆記問題を出題。(小テストに反映)</p>							
【授業を通じての到達目標】							
基本のフルメイクを30分で仕上げる技術を修得する。JESC検定(実技・筆記)合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Makeupテキスト メイク道具一式 筆記用具 iPad							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	4月17日 授業内容・ルール・教材確認・メイク前準備・スキンケア手順						1
2	4月24日 テーブルセッティング・スキンケア実技・ファンデーション理論・実技						1
3	5月1日 コンシーラー・フェイスパウダー理論・実技						1
4	5月8日 ハイライト・シェイディング理論・実技						1
5	5月15日 アイブロウ理論・実技						1
6	5月22日 メイク前準備～アイブロウ実技						1
7	5月29日 中間試験						実技20点
8	6月5日 アイメイク理論・実技						2
9	6月19日 リップ理論・実技						2
10	6月26日 チーク理論・実技						2
11	7月3日 時間配分・フルメイクデモ30分・フルメイク50分タイム取り						2
12	7月10日 フルメイク40分タイム取り						2
13	7月17日 フルメイク30分タイム取り・筆記模擬試験						2
14	8月21日 フルメイク30分タイム取り・検定注意事項読み合わせ						2
15	8月28日 定期試験・検定試験と同じように事前審査とフルメイクを30分で実施						実技60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋本勇人 内田由香
ネイル検定対策	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 水曜日 (4コマ)
学科・コース	トータルビューティەر科					
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのが、具体的に記載する)						
<p>橋本勇人： ネイリストとして24年間、校長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かしこれから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝え検定試験3級合格までをサポートしていきます。</p> <p>内田由香： ネイル専門学校で専門知識を学びサロンワーク、出張ネイルを経てネイルサロンの立ち上げに携わってきました。 その後、各ジャンルメーカーのインストラクターとネイル専門学校で講師を務め教育に従事して携わります 今後はさらに検定試験経験の経験も活かして合格に向けて知識と技術をお伝えします ※日本ネイリスト協会からの検定試験が担当し、基礎となる専門技術・専門知識をお伝えします。 ※JNECネイリスト技能検定試験経験が豊富にあり合格への重要ポイントを学ぶ事ができます。</p> <p>概要： この科目ではネイリスト技能検定試験を通じて 衛生と消毒、爪の構造、爪の病変とトラブル、ネイルの技術形態、テーブルセッティング、ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な知識を理解し、 ネイルケアの安全な技術、各種カラーリング、フットアート（イラスト）ネイルアートの技術を修得する トータルビューティەرを学ぶ学生にとって基本的な技術である</p>						
【授業を通じての到達目標】						
<p>ネイリスト技能検定3級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブラスター、キューティクルリムーバーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくラクス良く繊細に仕上げることができる</p>						
【使用教科書・教材・参考書】						
<p>1 J N A 3 クエニカシステムベータブック</p> <p>配布教材 コットン エプロン バスタオル1枚 フェイスタオル2枚 ハンドタオル1枚 Cニール袋(大きさB5～A4位、ノット位の大きさ) セロテープ スチンペーパー（ロールタイプ）2枚1組を6組以上 筆記用具 ハサミ メス機</p>						
【授業外における学習】						
回	授業概要					テスト配点
1	<p>シラバス、コマンド読み合わせ 教材説明 ネイルケアの用具用材と使用目的 p71.72 (ラベル貼り) テーブルセッティング[基本的なテーブルセッティング p70] 目標：教材の名称と使用目的を見える 基本的なテーブルセッティングを見える</p>					
2	<p>学則[爪の構造と働き p16.17] テーブルセッティング確認 教材ラベル貼りの確認 エミーボードの面取り確認 クラウドスタックの仕上げ確認 [カットスタイル別ファイリング]p85～91] 動画[ファイリング練習(チップ)] 目標：爪の名称を見える、構造と働きを検定試験までに見える 基本的なテーブルセッティングができる 5種類のカットスタイルの特徴を理解し見える エミーボードの持ち方を理解し実践できる</p>					
3	<p>学則[爪の構造と働き p18.19] テーブルセッティング確認、ファイリング復習 デモ練習 ブラスターの使用方法動画→相モデル練習 目標：爪の名称を見える、構造と働きを検定試験までに見える お客様の手の持ち方とから加減を見える メタルブラスターの用途、持ち方、動かし方、角度を見える実践できる</p>					
4	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング～ケアのデモ練習 相モデル 目標：ファイリング～ケアの手順を見える実践できる</p>					
5	<p>テーブルセッティング確認 ファイリング確認 クアデミー練習 相モデル 目標：正しい手順でファイリング～ケアが行える ブラスターとニールの正しい角度、持ち方、動かし方、支えができる</p>					
6	<p>要項説明 1回目(全2回) テーブルセッティング確認 カラーリング デモスタイルーション：動画[ファイリング練習(チップ)・カラーリング赤ボウシの練習(チップ)] 目標：チップの持ち方、支えができる カラーリングのガラスのストロークの順番とブラシの角度、ブラシ圧を見える実践できる</p>					
7	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人) 35分 ポッシュアップ (5分) 相モデル 目標：時間内に施術ができる 採点基準表の項目を見える 減点、失格を見える</p>					
8	<p>小テスト： テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人) 35分 ポッシュアップ (5分) 相モデル 目標：自爪のサイズに合わせてアートが描ける</p>					小テスト20点
9	<p>●相モデルの1人目が中間テストを受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリング)まで60分※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポッシュアップ、ファイリング、クレンジング(ケア) アート カラーリング 【両手60分】 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている ※木曜日の定期試験で相モデルの2人目が定期試験を受ける ※休憩なし</p>					中間テスト20点
10	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート 両手5本(右手親、人、中 左手親、人) 35分 ポッシュアップ (5分) 相モデル 目標：時間内に施術ができる 採点基準表の項目を見える 減点、失格を見える</p>					
11	<p>●相モデルの1人目が定期試験を受ける 事前仕込み(ケア、ラウンド、カラーリング)まで60分※カラーリングの前にお手洗いを済ませておく ポッシュアップ、ファイリング、クレンジング(ケア) アート カラーリング 【両手60分】 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できている ※木曜日の定期試験で相モデルの2人目が定期試験を受ける ※休憩なし 検定対策として7月14日(日)に実施</p>					定期試験
12	<p>テーブルセッティング、ファイリング ケア、カラーリング、アート(相モデル) 目標：時間内に施術ができる 減点、失格項目と採点基準が理解できて実践できる</p>					
【特記事項】						
7月14日 日曜日 ネイリスト技能検定試験3級						
【評価について】						
●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点						
●評価 A評価(90～100点) / B評価(80～89点) / C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0～59点・不合格)						
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	松原
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	導入教育 クラス内役割について 清掃について 授業の持ち物・SNSマナーについて						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅰ					基本:1組阿部 2組松原	
	必修 選択	必修	年次	1	担当教員		
学科・コース	授業 形態	演習	授業 時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	金曜日	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ・担当が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。							
【授業を通じての到達目標】 目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、入学宣誓書(担任回収&配布)				【授業外における学習】 長期休みに自宅課題あり			
実施日	回	授業概要			実施内容	備考	
	1	【授業について】 ・シラバススケジュール、中間試験、定期試験、コマシラ確認 ・入学宣誓書(月目標の設定) 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「クラス会議を立ち上げる～効果的なコミュニケーション」					
	2	【アナウンス&アンケート】 ・原コラ ・サポーターアンケート実施 ・ITリテラシー実施			・Teamsにてサボ案回答案内		
	3	【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「異なる見方・考え方のワーク」 【原宿がキャンパス】 ・原宿&表参道マップ 入学宣誓書(振り返り)				小テスト 10点	
	4	【専攻理解を深めよう】佐藤 ・メイクの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める ・入学宣誓書(月目標の設定)					
	5	【専攻理解を深めよう】竹澤 ・ネイルの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう					
	6	【専攻理解を深めよう】阿部 ・エステの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める					
	7	【専攻理解を深めよう】松原 ・ファッションの業界とは？ ・どのような業界なのか理解を深める ・入学宣誓書(振り返り)					
	8	【中間試験】※注意※ 通常の中間試験は7週目だがプロ道だけ8週となります ・専攻アンケート①・入学宣誓書(月目標の設定) 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう 「クラス会議シミュレーション」				中間試験 20点	
	9	【7つの習慣】阿部先生 ・導入期間の3つの習慣のおさらい ・自分の習慣の見直し ・目標設定				小テスト 5点	
	10	【人間力&専攻理解】 ・人間力の磨き方について① 阿部 ・メイク&ネイルの業界について ・専攻アンケート					
	11	【人間力&専攻理解】 ・人間力の磨き方について② 阿部 ・エステ&ファッションの業界について ・専攻アンケート ・入学宣誓書(振り返り)				小テスト 5点	
	12	【業界について】 ・キャリアからの就職のお話 キャリアセンター:高橋、宮崎 ・専攻アンケート② 【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう ※事前にテーマ募集 入学宣誓書(月目標の設定)					
	13	【専攻理解&検定対策】 ・オンデマンド配信、JESCメイク ・4専攻の特長とおさらい ・夏休みのすごしかた ・入学宣誓書(振り返り)					
	14	【相互理解】 ・クラス会議でクラスの問題を考えよう ※事前にテーマ募集 ・専攻アンケート③ ・入学宣誓書(月目標の設定)					
	15	【検定対策】 ・JESCメイクアップ検定 ・入学宣誓書(振り返り)				期末試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	セルフブランディングプログラム		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	基本: 1組阿部 2組松原		
学科・コース	トータルビューティ科共通		授業 形態	演習	授時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時期	前期		
<p>【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>・美容をトータルに学び体験しセルフブランディング出来るようにする ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。</p>										
<p>【授業を通じての到達目標】</p> <p>目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。</p>										
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】					
iPad、入学宣誓書(担任回収&配布)					長期休みに自宅課題あり					
実施日	回	授業概要			実施内容			備考		
4月18日	1	IT/DXリテラシーについて			正しいITとDXを理解し、正しく使えるようになる					
4月25日	2	社会貢献			【社会貢献】校舎近隣を知り、地域へ貢献する					
5月2日	3	現場実習 マナー研修			【授業について】現場に行くためのマナー研修 【相互理解】安心して現場に行けるように言葉使い・身だしなみ・姿勢・ルールの理解をする					
5月9日	4	ヨガ レッスン			【心と身体を整える】呼吸、姿勢、瞑想を組み合わせ、心身の緊張をほぐし、心の安定とやすらぎを手に入れる。体力や筋力の向上、老廃物を出す、ポジティブ心やる気アップ、ストレスやうつ症状の緩和・耐性向上を目指す。					
5月16日	5	栄養学			10	【食べ物が身体に与える影響を理解する】 日頃の食生活を見直し、コンディションを整え身体の内側からキレイになる知識を学ぶ。				
5月23日	6	サスティナブルコスメ見学			ウィズ原産開催のサスティナブルコスメ【ラキャルプ】の見学をし理解を深める					
5月30日	7	中間試験 メイクアップアーティスト講話			20	中間試験 ラグジュアリーブランドでのメイクアップアーティスト経験者からの講話				
6月6日	8	フレグランス授業			【トムフォード】香りについての授業					
6月20日	9	卒業生講話			【肌に触れて実感】 スキンケア商品の説明を受け正しいスキンケアの理解を深め、美肌になる知識を得る。					
6月27日	10	韓国コスメ			10	韓国の美容事情・コスメを使用し理解する				
7月4日	11	韓国語講座			国際教育 人気の韓国語を学び海外研修(希望性)で直接コミュニケーションが取れるきっかけを得る					
7月11日	12	金融リテラシー			金銭トラブルにならないように知識をつける					
7月18日	13	性教育			【人間の身体について理解する】 正しい知識を身につけて、性の科学的な情報を得る。					
7月25日	14	着付			【授業について】 ・浴衣着付け ・浴衣を自装出来るようにする。					
7/31 or 変更の可能性あり	15	調整中			60	専攻理解のもと、各専攻の店舗見学				
<p>美容をトータルに学び体験しセルフブランディング出来るようにする ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(専攻)を選択できるよう導く。</p>					<p>【評価について】</p> <p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>					

科目名 (英)	選択必修 I ファッション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川/前嶋
学科・コース	TB科 ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アパレル販売員として販売実務を10年以上経験し、その後接客に纏わる研修・運営・マネジメントを8年行ってきた講師から自らの体験をもとに得た基礎知識や実務の習得ができる。 またそれと同時に、時代やシーズンなどのファッション業界全体の流れやスタイリングについて必要な基礎知識やマーケットリサーチを中心に学ぶことができる。							
【授業を通じての到達目標】 基本的なファッションの知識を習得し、スタイリング提案に活かすことができるようになる。 リサーチ力を高め、常にトレンド意識を持つことでファッション業界に携わるものとして必要なマインドを身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 授業内容により資料を配布				【授業外における学習】 ショップリサーチ 接客体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【ファッションとは】 ファッション業界特有のシーズンスケジュールや職種(仕事内容)について学ぶ。						
2	【カラー/素材/柄】 シーズンによるファッションの変化と区分け、色や素材が与える印象について学ぶ。						
3	【基本スタイリング】 様々なアイテムを使用し、ジャンル別のトータルコーデを意識したスタイリングを実践的に行う。					5	
4	【デザイン/ディテール】 アイテムのデザインやディテールについての基礎知識を学ぶ。						
5	【トレンドリサーチ】 今シーズンのトレンドを調べ、実店舗との比較を行う。						
6	【中間テスト】 試験内容:各自が調べたトレンドキーワードや前週の売り場リサーチを基にカラーージュ作成を行う。					20	
7	【ブランドリサーチ】 ブランドマトリックスを使用し、ブランドのイメージや立ち位置などの理解を深める。						
8	【ブランドリサーチレポート】 自身の気になる企業やブランドをリサーチし、無知な相手にも伝わるプレゼンを行う。					10	
9	【販売心理と接客用語】 消費者の購買心理を学び、購買心理に沿った接客を心得る。また、接客の導入からお見送りまでの一連において場面別に必要な用語を習得する。						
10	【接客体験】 実店舗にて接客を受け、購買心理及び接客7大用語を体感する(レポート提出)					5	
11	【商品プレゼンテーション】 各自の持ち物のお気に入りポイントやメリットなどを相手に伝え、購買意欲や興味を高める練習を行う。						
12	【似合わせとは】 輪郭・骨格・肌色などタイプ別に似合うものを素材・カラー・デザイン・柄など様々な要素別に考える。						
13	【TPO別スタイリング】 テーマやシチュエーション別にコーデを考案、着せ替えを行う。						
14	【定期テスト準備】 チーム別に決めたモデルの似合わせを考え、プレゼン時のトータルコーデを考案する。						
15	【定期テスト】 試験内容:似合わせコーデプレゼン					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	エステティック	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡
学科・コース	トータルビューティー科エステコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	火曜日1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
目的: エステティシャンで必要とされる技術や接客方法を学ぶ 概要: この科目ではボディマッサージ方法を学び、マッサージ手技やマッサージ中の姿勢や体重のかけ方など具体的に専門的に学びます。接客においては、お客様側を体験することでお客様目線で接客について学ぶことができます。 小池→大手エステサロンにてエステティシャンとして2年勤務・美容室エステ部門をエステティシャンとして9年担当 名尾→大手エステサロンにてエステティシャンとして4年勤務・リラクゼーションサロンにてセラピストとして2年勤務・エステサロンを2店舗(4年)経営 佐野→大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、接客、マッサージなどのトリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
実技マニュアルプリント・ボディ実技準備一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	オリエンテーション(授業の説明・小テスト・事前準備)ボディエステの目的効果						
2	基本手技について・前操作					小テスト10点	
3	スチームタオルの作り方・前操作・下肢後面(塗布～4)・スチームタオル拭き取り						
4	下肢後面(塗布～4)までの復習 中間テスト					中間テスト20点	
5	下肢後面(5～12)						
6	スクラブ～下肢後面(塗布～12)					小テスト10点	
7	うつ伏せから仰向けのご案内の仕方・下肢前面～10 定期試験					定期試験60点	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	1・2年生交流会 1 and sophomore Meet-the-people session	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 佐藤 羽村
	学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる							
【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1・2年生交流会に向けて各コース(MA/NL)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
2	1・2年生交流会に向けて各コース(ES/FA)の業態について調べ、各コースの特徴をまとめることができる						
3	1～2回の授業でまとめた内容をグループでシェアすることでより深く各業態について知ることができる						
4	1～3回の内容をもとに2年生と交流するコースを選択する						
5	4回目授業で決めたコースについて質問シートをまとめ						
6	選択したコースの先輩から施術をしてもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ①						
7	選択したコースの先輩から施術をもらうことで自分の希望するコース・学ぶ内容を知ることができる ②						
8	6～7回の授業で施術をもらった先輩へお礼状を書くことで、自分が得た知識についてアウトプットを行うことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修 I エステ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
				曜日・時間	木曜(1・2限)		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エステティックの楽しさを学ぶ。各種テクニックを理解し技術の習得を目指す。 (※ステディションとして長年経験し現在も多くのお客様方のケアをしている講師による授業である)							
【授業を通じての到達目標】							
各種テクニックを理解し技術の習得を目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	シラバス説明・自分の体を知る・疲れた体を楽にする						
2	むくみのない足に・足痩せセルフマッサージ					小テスト4点	
3	お肌のお悩み(ニキビについて)セルフケア						
4	お肌のお悩み(小顔について)セルフケア					小テスト4点	
5	お肌のお悩み(毛穴汚れ)吸引						
6	お肌のお悩み(毛穴汚れ)ディープクレンジング・パック						
7	お肌のお悩み(小顔について)小顔マッサージ					中間試験20点	
8	リフレクソロジー(足ツボマッサージ)						
9	リフレクソロジー(足ツボマッサージ)					小テスト4点	
10	背中マッサージ						
11	背中マッサージ					小テスト4点	
12	背中マッサージ・背中ディープクレンジング						
13	背中マッサージ・背中パック					小テスト4点	
14	背中マッサージ						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美肌検定 I	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
<p>【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わってきました。将来、美容業に携わる皆さん自身の為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう、普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。目的:美肌検定に合格するための必要な知識を学ぶ 概要:この科目では肌について専門的に学びますが、食事法や運動法、お手入れな方法と幅広く学ぶことで、内外からトータル美容を学ぶ学生にとっても重要な基本的な知識である。</p>							
<p>【授業を通じての到達目標】</p> <p>美肌検定に合格する</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8～13)						
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16～24)					小テスト4点	
3	皮膚の構造と働きについて(P.26～27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28～31)					小テスト4点	
5	しわ、たるみについて(P.32～33)						
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P.34～38)						
7	中間テスト(筆記テスト)					中間テスト20点	
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40～46)						
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48～53)					小テスト4点	
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54～59)						
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62～65)					小テスト4点	
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法						
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト4点	
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
15	定期試験(美肌検定試験)					定期試験60点	
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	アドバイザートレーニング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科メイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) フルメイクの反復練習で基本的なメイク技術の向上をめざす。デモンストレーションを見てメイクプロセスやポイントを書き取りメイクレシピを作成し、セルフメイクすることでテーマメイクのポイントを確実に覚え、様々なテーマに合わせたメイクができるようになる。様々なコスメを駆使してフルメイクができるようになる。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。							
【授業を通じての到達目標】 様々なテーマメイクのポイントを理解し、イメージに合わせたアイテム選びをし、フルメイクで表現できる技術力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料 ノート							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ナチュラルカラーメイク①デモンストレーション セルフメイク この授業の目的・目標を理解する。メイクポイントノートを作成し、ナチュラルカラーメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
2	ナチュラルカラーメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせナチュラルカラーメイクができるようになる						5
3	キュートメイク(ソフト)①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、キュートメイク(ソフト)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
4	キュートメイク(ソフト)② 相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
5	キュートメイク(ポップ)①デモンストレーション セルフメイク キュートメイク(ポップ)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。						5
6	キュートメイク(ポップ)②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
7	中間試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。						20
8	クールメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、クールメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
9	クールメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						5
10	ゴージャスマイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、ゴージャスマイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
11	ゴージャスマイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせゴージャスマイクができるようになる。						5
12	アイフォーカスマイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、アイフォーカスマイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
13	アイフォーカスマイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせアイフォーカスマイクができるようになる						
14	リップフォーカスマイク解説 相モデル実習 メイクポイントノートを作成し、モデルの顔に合わせリップフォーカスマイクができるようになる						
15	定期試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	検定対策(化粧品販売員検定) cosmetics	年次	1年	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	講義・演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	トータルビューティ科 メイクアップ専攻	単位	2			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	美容部員として必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ・シルバー資格を取得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ・シルバー資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト ブロンズ・シルバー		事前事後 学習と その内容			
教材	メイク道具一式					
特記事項	授業前にメイク道具をセッティング					
化粧品販売員検定取得する事により現場のOJTやブランド就職先のアプローチに繋がる。						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向・ブランド分析 ブランドメイク実技(セルフ)
2	化粧品学(基礎)①スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴・パウダーレスのツヤ肌メイク実技
3	化粧品学(基礎)②メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴・タッチアップアイメイク実技(六分割)
4	接客販売①&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなど、タッチアップメイク実技(つり目)
5	接客販売②&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなど、タッチアップメイク実技(たれ目)
6	化粧品販売員検定ブロンズ 模擬テスト	ブロンズ模擬テスト、タッチアップメイク実技(丸い目)
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策
8	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
9	化粧品学(応用)①&タッチアップ	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分など、色相Y:イエローベースメイク実技
10	化粧品学(応用)②&タッチアップ	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなど、色相B:ブルーベースメイク実技
11	皮膚科学①&タッチアップ	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌など 明度L:ライトトーンメイク実技
12	皮膚科学②&タッチアップ	スキントイプ・肌のトラブルなど 明度D:ディープトーンメイク実技
13	スキンケアカウンセリング&タッチアップ	スキンケアカウンセリング手順など 彩度V:ピピットカラーメイク実技
14	化粧品販売員検定シルバー期末試験対策	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策 彩度S:ソフトカラーメイク実技
15	化粧品販売員検定シルバー期末試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験 似合わせメイクアップ実技

科目名 (英)	セルフブランディング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笠原・清水
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース		トータルビューティ科・メイクアップコース					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 ビューティアドバイザーとして実際に接客をする際に、相手に伝えることを主としてその語彙や手法について学ぶ 【教員】社会経験13年以上ある美容部員経験のある職員が、実際に伝えることをテーマとして授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
自分自身を発信する手法を身に付け、SNS等での発信力を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	SNSの種類・それぞれの特徴について						
2	現在流行しているインフルエンサーについて調べる						小テスト 5点
3	インフルエンサーの発信方法を分析する						
4	自分自身の強み・特徴を理解する						
5	プロモーションの手法や企業の状況を理解する						小テスト 5点
6	自分の発信するメイクアップを考案する						
7	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する						中間テスト20点
8	先週の発信についての影響を分析する						
9	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する②						小テスト 5点
10	先週の発信についての影響を分析する						
11	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する③						小テスト 5点
12	先週の発信についての影響を分析する						
13	ロケで自分自身のトータルコーディネートを考える						
14	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する④						
15	全体を通して振り返りを行う						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ブランド別メイク理論&演習 I	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	笠原/門脇
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドの特徴や商品の違いを理解し、ブランドイメージに合わせてメイクアップができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	化粧品業界について						
2	外資系ブランド ①						小テスト4点
3	外資系ブランド ②						
4	国産ブランド ①						小テスト4点
5	国産ブランド ②						
6	リサーチ&プレゼンテーション						
7	最新クリスマスコフレ						中間テスト20点
8	メイク実習とプレゼンテーション						
9	外資系ブランド ③						小テスト4点
10	国産ブランド ③						
11	2022年 春メイク						小テスト4点
12	人気ブランドを知る1						
13	人気ブランドを知る2						小テスト4点
14	メイク実習とプレゼンテーション						
15	メイク実習とプレゼンテーション						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	タッチアップメイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	高岸
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科 メイク分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、BAとして必要なコミュニケーション、タッチアップのメイク技術を指導する。							
【授業を通じての到達目標】 BAとして幅広い、年齢層、人種、肌色、骨格、その方の悩みが解決出来るようなメイクの提案力、その方にあった製品の選び方、タッチアップの技術を身に付ける事が出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	基本的なフェイスチャートの描き方レクチャー						
2	メイクブラシの使い分けのレクチャー					小テスト4点	
3	ツヤ肌作りのレクチャー						
4	アイブロウとアイシャドウのレクチャー					小テスト4点	
5	チーク、ハイライト、シェーディングのレクチャー						
6	カウンセリングをしてモデルのメイク悩みを聞き出す。						
7	中間試験					中間テスト20点	
8	ベースメイクのおさらい。						
9	アイシャドウのコントラストの作り方レクチャー					小テスト4点	
10	リキッド、ジェルライナーのひき方レクチャー						
11	リップラインのひき方レクチャー					小テスト4点	
12	色の出し方、ブラシの使い方レクチャー						
13	パールとマツトの使い分けレクチャー					小テスト4点	
14	モデルの顔分析 シートの記入						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プレゼンテーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	笠原・清水
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科・メイクアップコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 ビューティアドバイザーとして実際に接客をする際に、相手に伝えることを主としてその語彙や手法について学ぶ 【教員】社会経験13年以上ある美容部員経験のある職員が、実際に伝えることをテーマとして授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
接客時に商品の良さを伝えられるようになる手法を理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	プレゼンテーションの意義・ビューティアドバイザーとして						
2	まずは「聴く」力を理解する。傾聴について						小テスト 5点
3	話し方について理解する・話し上手の3つの基本						
4	説得上手の手法を理解する						
5	相手に伝わるコミュニケーションについて理解する						小テスト 5点
6	話し方・聞き方についての振り返り						
7	前半の学びを振り返り、言葉のみのプレゼンテーションの実施						中間テスト20点
8	視覚に訴えるプレゼンテーションの理解						
9	書いて相手に伝える技法を理解する						小テスト 5点
10	自己理解・他者理解について						
11	ジョハリの窓について						小テスト 5点
12	インタビューとフィードバックの実践						
13	化粧品を基にしたプレゼンテーションの準備						
14	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施						
15	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施②						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	化粧品検定	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】 基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品検定2級合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品検定3・2級テキスト							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	この授業について 3級内容(～35P) この授業について理解する 間違いがちな美容知識について理解する						
2	3級内容 36～49P 間違いがちな美容知識について理解する						
3	2級内容 52～59P 皮膚構造 皮膚構造・表皮について理解する。					5	
4	2級内容 60～69P 皮膚構造 皮膚構造・真皮・付属器官、皮膚の機能について理解する						
5	2級内容 72～77P 肌のお手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因と対策について理解する 乾燥					5	
6	2級内容 78～83P 肌のお手入れと正しい知識 その2 肌悩みの原因と対策について理解する ニキビ・毛穴						
7	中間試験 83Pまでの内容 筆記テスト 一般的な美容知識と皮膚構造、肌悩みについて理解する。					20	
8	2級内容 84～89P 肌のお手入れと正しい知識 その3 肌悩みの原因と対策について理解する くすみ						
9	2級内容 90～93P 肌のお手入れと正しい知識 その4 肌悩みの原因と対策について理解する くま・しわ・たるみ					5	
10	2級内容 94～108P メイクアップの基本 メイクアップの基本テクニックのポイントを理解する。						
11	2級内容 112～119P 肌の劣化 肌劣化の原因と仕組みについて理解する						
12	2級内容 120～125P 紫外線が肌に与える影響 紫外線の種類、紫外線が肌に与える影響を理解する。					5	
13	2級内容 126～130P 効果的なマッサージ 効果的なマッサージの必要性和方法を理解する						
14	2級内容 132～139P 生活習慣と美容 美しい肌を作る生活習慣について理解する。						
15	定期試験 139Pまでの内容 筆記テスト 肌悩みとお手入れ方法、メイクの基本テクニック、肌劣化、紫外線の影響、生活習慣について理解する					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	イクステンション演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋本
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格するために サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を身に付ける ネイリスト検定1級検定試験合格するために アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を身に付ける コンテストの作品を作成するためにジェルネイルの基本的知識とを理解し、チップオーバーレイ、アートの技術を身に付ける ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施 経歴: ネイル教育に20年以上携わってきました。現在はネイル専門学校でも講師をしております。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきま した。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる ジェルネイルのイクステンション(チップ&オーバーレイ)のアプリケーション、ベースアート、トップジェルまで仕上げることができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	チップラップ(右中指) 相モデル						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)						
3	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)						
4	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)					小テスト20点	
5	アクリル教材説明、検定シール貼付、ブラシの下ろし方、アクリルネイルの基礎知識を修得する ミクスチュア作成(大、中、小)1cm×1cmの四角形で厚み1mmにプレスしたミクスチュア						
6	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
7	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ2cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
10	ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (チップ)						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)					中間テスト20点	
13	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) TO2本 スカ5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) TO2本 スカ5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ネイル検定演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋本
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施</p> <p>経歴:ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。現在は個人サロンを経営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシュャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、 フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ケアカラー (相モデル)						
2	ケアカラー (相モデル)						
3	ケアカラー (相モデル)						
4	ケアカラー (相モデル)					小テスト20点	
5	アクリルイクステンション チップオーバーレイ (ブラクティスハンド)						
6	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
7	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
8	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
9	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
10	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
11	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
12	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (相モデル)					中間テスト20点	
13	1級タイムトライアル (相モデル1人目)						
14	1級タイムトライアル (相モデル2人目)						
15	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(中3本)[90分] 1限は仕込み					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ネイル技術演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝本
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格するために、サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める コンテストの作品を作成するために、トルペイントの技術を身につける 基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施</p> <p>経歴:ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング・メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる エンボス、3Dの違いを把握し、ブラシワークを覚え模倣することができる トルペイントのグラデーション(ダブルローディング)の技法を覚え模倣することができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授業概要					テスト配点	
1	ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指)						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
3	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					小テスト20点	
4	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
5	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					中間テスト20点	
6	ブラシの下ろし方、エンボスアート 丸花、尖り花						
7	エンボスアート ハート、リボン						
8	ジェルトルペイント グラデーションフラワー						
9	ジェルトルペイント グラデーションフラワー						
10	アクリル3Dアート						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (ブラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (ブラクティスハンド)						
13	アクリルスカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ジェルネイル演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	戸川
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める 基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、 JNAフットケア理論検定試験指導員が実施</p> <p>経歴: ネイルスクール卒業後ネイルサロンで実務経験を積み店長業務を経てネイルの講師としてネイル業界に携わっています。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる ジェルアートのグラデーション、カラーフレンチをムラなくバランス良く仕上げることができる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	カラー(ピンク系)、アート(左中指) 相モデル						
2	チップラップ (相モデル)						
3	チップラップ (相モデル)						
4	チップラップ (相モデル)					小テスト20点	
5	ジェルカラーリング&ピーコック オフ【中3本】 自爪						
6	ジェルカラーリング&ピーコック オフ【中3本】 相モデル					中間テスト20点	
7	ジェルグラデーション (チップ) タッピング技法・グラデーションブラシ技法						
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ1cm程度、カットスタイル スクエア						
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ2cm程度、カットスタイル スクエア						
10	ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (チップ)						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
13	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ネイル検定対策Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施 経歴:ネイル教育に20年以上携わってきました。現在はネイル専門学校でも講師をしております。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、 フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					小テスト20点	
3	教材説明 ジェルの基礎知識(プリント) ブラシの下ろし方 ジェルの管理と保管 プレパレーション ジェルカラーリング(赤) ジェルオフ 過去問題は配布 (自爪)						
4	アクリル フローター(プラクティスハンドでショート、ロング)、ファイリング基礎						
5	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
6	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
7	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
8	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
9	アクリルイクステンション チップオーバーレイ/スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
10	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
11	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
12	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)					中間テスト20点	
13	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
14	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	フェイシャル演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フェイシャルエステティックの流れや目的・効果・禁忌事項などが理解できたくえでトリートメントが提供できるようになる。また今後の資格試験の実技試験に合格するための技術、知識を身につける							
※講師はエステティシャンとして数多くのお客さまの美容上のお悩みをケアした経験を持つ(講師歴12年目)。 ※保有資格:AEA認定講師、AJESTHE認定講師、AJESTHE認定トータルエステティックアドバイザー、CIDESCO国際エッセティシャン、美容師免許							
【授業を通じての到達目標】							
フェイシャルエステティックができるようになる ・クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AJESTHE教科書(新エステティック学 技術編)、実技準備物一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	フェイシャルエステティックの一連の流れ、準備の仕方、ポイントクレンジングについてセッティング、誘導、ターバン巻き、ポイントメイク落としの流れができるようになる						
2	クレンジング、拭き取りポイントメイク落とし、クレンジング、スポンジ、コットン、スチームタオルでの拭き取りができるようになる						小テスト 4点
3	フェイシャルマッサージ(6手技)について、フェイシャルマッサージ軽擦法クレンジング、マッサージの軽擦法ができるようになる						
4	フェイシャルマッサージ強擦法、揉擦法 マッサージの強擦法、揉擦法ができるようになる						小テスト 4点
5	フェイシャルマッサージ打法、振動法、圧迫法、軽擦法② マッサージの打法、振動法、圧迫法、軽擦法②ができるようになる						
6	パック クレンジング、マッサージ、パック、整肌の流れができるようになる						
7	中間テスト クレンジング、拭き取り、フェイシャルマッサージ、パック、整肌						中間テスト 20点
8	ディープクレンジング(ゴマージュ粒子なし) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
9	ディープクレンジング(ゴマージュ粒子あり) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						小テスト 4点
10	ディープクレンジング(酵素)、スチーマーの使用方法 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
11	ディープクレンジング(ブラシクレンジング) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						小テスト 4点
12	ディープクレンジング(吸引) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
13	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						小テスト 4点
14	フェイシャル一連の流れ クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌の一連の流れができるようになる						
15	定期試験 クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌						定期試験 60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	皮膚学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
皮膚の基本知識を深め、肌質に合わせて適切なお手入れ方法や推奨トリートメントなどアドバイスができるようになる。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様の美容上のお悩みやケアをする経験を持ち、日本エステティック協会及び日本エステティック業協会の認定エステティシャンが担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
皮膚の働きと仕組みを理解し、肌質にあったスキンケア方法や肌を美しく健康に保つための基礎知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA皮膚科学、新エステティック学理論							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	皮膚の構造 AEA P.6～13 新エステティック P.126～130						
2	皮膚の構造 AEA P.14～19 新エステティック P.126～130						小テスト4点
3	皮膚の付属器官 AEA P.20～30 新エステティック P.126～130						
4	皮膚の生理機能と皮膚の働き AEA P.34～41 新エステティック P.135～150						小テスト4点
5	肌トラブルの要因(ストレス・自律神経・ホルモン・免疫) AEA P.46～53 新エステティック P.151～154						
6	肌トラブルの要因(内臓・血液循環・栄養・生活習慣・ケア) AEA P.54～64 新エステティック P.151～154						
7	中間テスト(筆記試験)						中間テスト20点
8	肌タイプとタイプ別スキンケア AEA P.65～70 新エステティック P.151～154						
9	肌の老化とケア(加齢・紫外線・シワ) AEA P.74～84 新エステティック P.162～176						小テスト4点
10	シミ・その他の老化現象 AEA P.85～90 新エステティック P.162～176						
11	敏感肌と皮膚疾患 AEA P.94～107 新エステティック P.177～183						小テスト4点
12	ニキビ・その他 AEA P.108～124 新エステティック P.177～183						
13	肌タイプを理解し、肌の見極め・肌分析 新エステティック P.195～205						小テスト4点
14	肌分析、コンサルテーション 新エステティック P.195～205						
15	定期試験(筆記試験)						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点) / B評価(80～89点) / C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価			

科目名 (英)	サロン演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤
学科・コース	トータルビューティ科 エステ専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロのエスティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ 各種テクニックを理解し技術の習得を目指す 講師は現役エスティシャンであり、現在までに数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、副店長、店長経験のある講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	お客様を迎える準備、接客、誘導、ご案内						
2	フェイシャルの基本技術(クレンジング)						
3	フェイシャルマスクについて(ジェルマスク)						
4	フェイシャルマスクについて(クリームマスク)						4点
5	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ						
6	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ						4点
7	コースメニューの実施						中間テスト実施20点
8	コースメニューの実施、コース紹介ツールの作成						
9	2年生学生サロン体験						4点
10	コースメニューの実施						
11	コースメニューの実施						4点
12	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う						4点
13	実際にお客様にコースメニューを実施しての反省、振り返り						
14	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う						
15	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う						定期試験実施60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	解剖生理学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとして施術に必要な骨格、筋肉、循環器系、神経系について学ぶ 経歴:大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
ボディ実技と運動して理解でき、コンサルテーションに反映できるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAテキスト「解剖生理学」 / 日本エステティック協会選択科目							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 骨と筋肉の1.役割 2.機能 3.構造 【到達目標】 全身の骨、筋肉について学ぶ			9	【授業単元】 内分泌系 ホルモン② 【到達目標】 性ホルモン、副腎について覚える		
2	【授業単元】 関節運動と筋肉の関係 【到達目標】 骨と筋肉の連動運動について知る			10	【授業単元】 免疫系 【到達目標】 免疫の1.仕組み 2.種類 3.機能 4.役割について覚える		
3	【授業単元】 循環器系の役割 【到達目標】 血液、血管の構造、機能、役割を覚える			11	【授業単元】 呼吸器、泌尿器系 【到達目標】 肺、腎臓の1.構造 2.機能 3.役割について覚える		
4	【授業単元】 循環器系 リンパの役割、働き 【到達目標】 リンパの1.構造 2.機能 3.循環 4.むくみについて覚える			12	【授業単元】 消化器系① 【到達目標】 口腔、咽頭、食道、胃について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
5	【授業単元】 神経系 中枢神経 【到達目標】 1.神経系の種類 2.脳の構造 3.脳の働きについて覚える			13	【授業単元】 消化器系② 【到達目標】 肝臓、小腸、大腸、肛門について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
6	【授業単元】 神経系 末梢神経 【到達目標】 1.自律神経 2.体性神経について覚える			14	【授業単元】 代謝と体温 【到達目標】 代謝の調節、体熱生産・放散、体温調整について覚える		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筋・骨格、循環器、神経系より四択問題及び記述式試験			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 内分泌系、免疫系、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝についての四択問題および記述式試験		
8	【授業単元】 内分泌系 ホルモン① 【到達目標】 ホルモンの1.構造 2.機能 3.役割について覚える 甲状腺、膵臓、成長ホルモンについて覚える			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ボディ演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ハンド・機器テクニックによるボディトリートメントの基礎を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。 ※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様方のケアをしている							
【授業を通じての到達目標】							
ボディの観察(ボディチェック)、マッサージを修得する。正しく安全にボディ機器を操作する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本エステティック協会『新エステティック学-技術編 I』、ボディ実技準備物一式							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】腰背部ボディマッサージについて(P.77～80) 【到達目標】 腰背部の注意点(揉捏法・打法の強さ、筋肉の位置)を理解し、マッサージできるようになる			9	【授業単元】コンサルテーションシートについて サクションについて 上半身(腰背部・上肢・腹部) 【到達目標】 コンサルテーションシートを用い、ボディチェックに基づき施術内容を組み立てられるようになる。 全身のリンパの流れを理解し、サクションを行うことができる。		
2	【授業単元】上肢マディマッサージについて(P.83～85) 【到達目標】 下肢との違いを理解し、マッサージできるようになる			10	【授業単元】パイプレーターについて(P.60～62) パイプレーターの目的と効果、トリートメント 【到達目標】 パイプレーターの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。		
3	【授業単元】腹部・デコルテマッサージについて(P.86～90) 【到達目標】 腹部、デコルテの筋肉を理解しながらマッサージを行う。力加減を意識して行う。			11	【授業単元】低周波について(P.59～60) 低周波の目的と効果、トリートメント 【到達目標】 低周波の効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく施術することができる。		
4	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について(P.55・91～94) 【到達目標】 ボディチェック(採寸・筋肉・脂肪・姿勢その他トラブル等)ができるようになる。			12	【授業単元】低周波について 【到達目標】 全身の筋肉の名称と位置を理解し、的確なパット位置を選ぶことができる。		
5	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について ボディマッサージについて 【到達目標】 ボディチェックをスムーズに行うことができる。ボディマッサージを強弱・リズム・密着・姿勢を意識し行うことができる。			13	【授業単元】ボディ機器について 【到達目標】 それぞれの機器の特徴を理解し、ボディタイプに合わせたトリートメントを行うことができる。		
6	【授業単元】ボディマッサージの一連の流れについて 【到達目標】 全身のマッサージがテキストを見ずにスムーズにできるようになる。			14	【授業単元】ボディエステティックの流れ コンサルテーション～ボディ機器～仕上げ 【到達目標】 ボディエステティックの流れが時間を意識して行えるようになる		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 ご案内～全身のマッサージ～拭き取りの一連の流れ			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～コンサルテーション(ボディチェック含む)～ボディ機器～仕上げの一連の流れ		
8	【授業単元】ボディ機器について(P.63) 吸引(サクション)の目的と効果、下肢のトリートメント(P.63) 【到達目標】 サクションの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							